

マダガスカル国環境・治水・森林省
マダガスカル国農業・畜産・水産省

マダガスカル国
アロチャ湖南西部地域
流域管理及び農村開発計画調査

ファイナルレポート

平成 20 年 1 月
(2008 年)

独立行政法人
国際協力機構 (JICA)

日本工営株式会社
社団法人海外林業コンサルタンツ協会

序 文

日本国政府は、マダガスカル国政府の要請に基づき、同国のアロチャ湖南西部地域流域管理及び農村開発計画調査に係わる開発調査を実施することを決定し、独立行政法人国際協力機構がこの調査を実施いたしました。

当機構は、平成 15 年 10 月から平成 20 年 1 月まで、日本工営株式会社の尾中健二郎氏（平成 18 年 3 月まで）/松本豊氏（平成 18 年 5 月以降）を団長とし、同株式会社及び社団法人海外林業コンサルタント協会から構成される調査団を現地に派遣いたしました。

調査団は、マダガスカル国政府関係者と協議を行うとともに、計画対象地域における現地調査を実施し、帰国後の国内作業を経て、ここに本報告書完成の運びとなりました。

この報告書が、本計画の推進に寄与するとともに、両国の友好・親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終わりに、調査にご協力とご支援を戴いた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成 20 年 1 月

独立行政法人国際協力機構

理事 松本 有幸

伝 達 状

独立行政法人 国際協力機構

理事 松本 有幸 殿

今般、マダガスカル国アロチャ湖南西部地域流域管理及び農村開発計画調査に係る業務が終了しましたので、ここに最終報告書を提出いたします。本報告書は平成15年8月より平成20年1月までの54ヶ月にわたり実施された開発調査の結果を取りまとめたものです。

本調査の主目的は、(1)アロチャ湖南西部地域の環境管理及び地域住民の持続的な生計活動を確保するための開発計画の策定ならびに計画の具体性を高めるためのパイロット事業の実施、及び(2)調査業務の実施を通じてカウンターパート機関及び地域住民に対する計画立案及び事業実施に係る技術移転・指導の実施、の2点におかれまして。5年次にわたる調査では、第2年次その1調査終了時に、調査対象地域の現況と問題点を整理し、問題の解決に向けた対策を取りまとめた開発計画素案を策定しました。さらに、緊急性の高い対策を選択し、その有用性の検証を目的としたパイロット事業計画を策定するとともに、先方政府との合意に基づき、流域管理分野7件、農村開発分野5件のパイロット事業を第2年次調査その2から第4年次調査まで約30ヶ月を費やして実施しました。したがって、本報告書に示された最終的な開発計画は、パイロット事業の実施を通じて得られた数多くの教訓ならびに検証結果を反映させたものになっています。

本調査は、カウンターパート機関である環境・治水・森林省及び農業・牧畜・水産省に加えて、保健・家族計画省、内務省、国防省などの中央政府関係者、調査対象地域を所管するアロチャ・マングル県庁ならびにパイロット事業実施地区住民の継続的参加を得て進められました。したがって、本報告書に示された流域管理・農村開発計画は、これら関係者との継続的な協議により取りまとめられたものです。

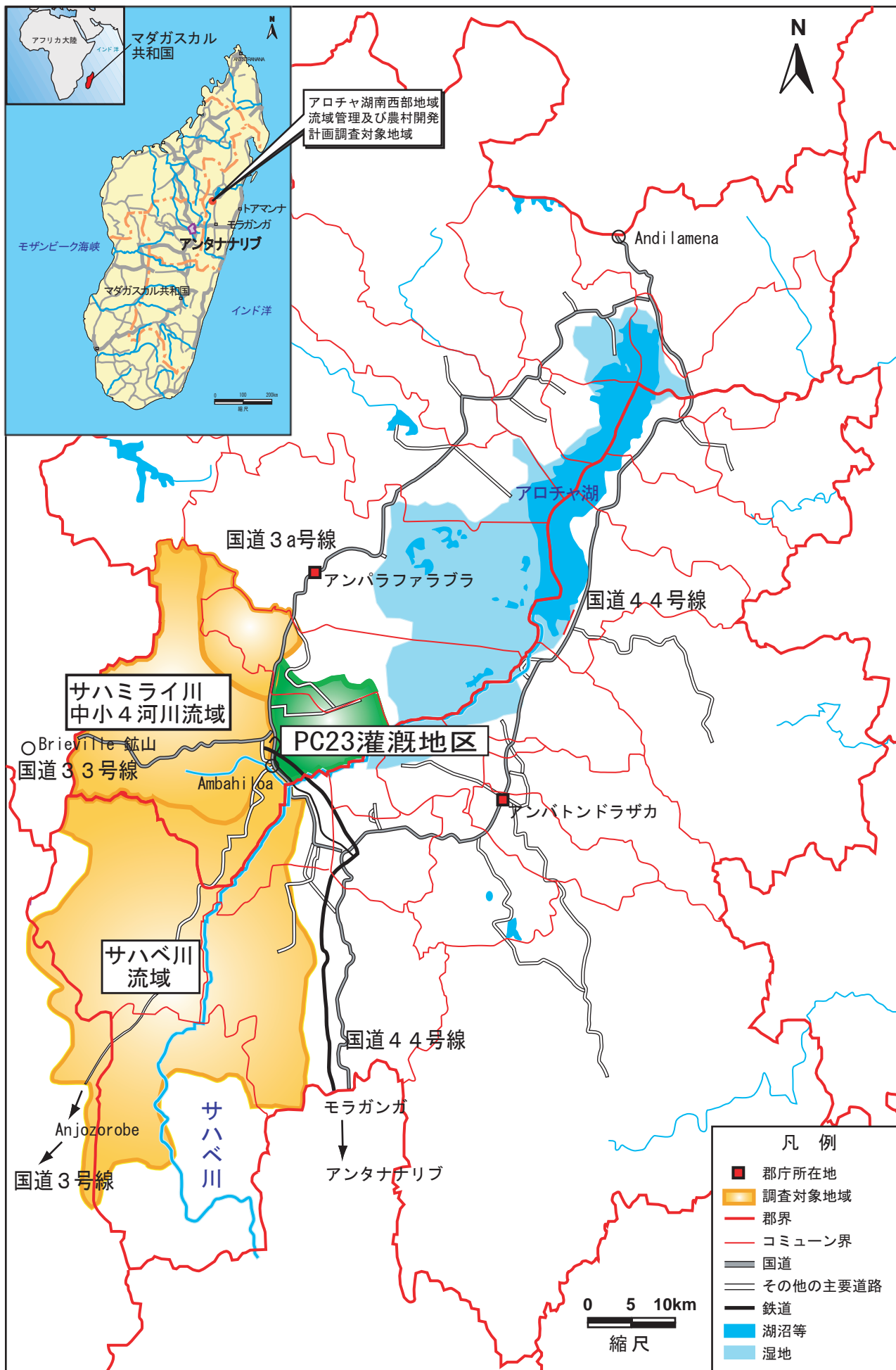
本調査の遂行にあたり、貴機構、外務省、農林水産省の各位には多大なご協力とご支援を賜りました。また、現地調査においては、環境・治水・森林省、農業・牧畜・水産省をはじめとするマダガスカル国の関係諸機関、貴機構マダガスカル事務所ならびに在マダガスカル日本大使館の関係各位から多大なるご協力を得ることができました。ここに深甚なる感謝の意を表する次第です。

最後に、本報告書が環境・治水・森林省、農業・牧畜・水産省及び関係機関に活用され、国策として遂行されている灌漑・流域管理政策に沿ってアロチャ湖南西部地域の環境保全と灌漑開発が一体的に実施され、それに伴って地域農民の貧困削減に寄与することを切に願いたします。

平成20年1月

マダガスカル国アロチャ湖南西部地域流域管理及び農村開発計画調査団

総括 松本 豊



調査対象地域位置図